



2025年3月期第3四半期業績報告

2025. 2. 12

日本電子株式会社

2024年度第3四半期決算概要



2024年度第3四半期決算 サマリー

2024年度第3四半期実績	売上、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する純利益は第3四半期の過去最高を更新	
理科学・計測機器事業	大学／官庁	✓ 各国政府の科学技術投資は堅調 ✓ 中国は低金利融資政策等の補正予算は一巡も高い水準を維持
	民需（半導体）	✓ 韓国や台湾を中心に引き続き活況
	民需（他産業）	✓ 電池市場は研究開発投資が継続
産業機器事業	描画装置	✓ マルチビームマスク描画装置は設備投資の回復が遅れており、今後の本格的な回復に期待 ✓ シングルビームマスク描画装置は中国を中心に旺盛な需要が継続 ✓ スポットビーム（スポット型電子ビーム描画装置）も好調
	その他産業機器	✓ 電子銃市場は引き続き低調
医用機器事業	国内市場	✓ 検査センターを中心に安定した需要あり
	海外市場	✓ 中国の国産優遇策等の影響により受注・売上が引き続き減少

2024年度第3四半期累計期間決算実績 (P/L)

- 売上高 1,364億円 (前年比 +27.6%) / 営業利益 263億円 (同 +98.4%) となり、第3四半期の過去最高値を更新
- 為替が前提より円安で推移したことに加え、理科学・計測機器事業および産業機器事業の売上が堅調に推移した
- 販管費は売上数量増に伴う変動費が増加、研究開発費は電子顕微鏡等の競争力強化のため増加

連結数値 (P/L)

(単位：億円)

	23年度 3Q累計実績①	24年度 3Q累計実績②	前年比 ②-①
1 売上高	1,069	1,364	295
2 売上原価	566	692	126
3 (原価率)	53.0%	50.7%	△2.3%
4 売上総利益	502	672	170
5 販管費	293	322	29
6 研究開発費	77	87	9
7 販管費及び一般管理費合計	370	409	39
8 営業利益	133	263	130
9 営業外収益	11	10	△ 1
10 営業外費用	2	8	6
11 経常利益	142	265	123
12 特別利益	2	0	△ 2
13 特別損益	2	0	△ 2
14 税前当期純利益	142	265	123
15 法人税等	41	66	25
16 当期純利益	101	200	99

営業利益増減分析 (対前年比)

(単位：億円)

(A) プラス要因	170
1. 売上数量増	105
2. 為替差 (円安)	38
3. 原価改善等	27

(B) マイナス要因	△ 39
1. 販売管理費増	△ 29
2. 研究開発費増	△ 10

(A)+(B)	130
---------	-----

為替レート(1\$=)	¥143	¥153
為替レート(1€=)	¥155	¥165

事業セグメント別連結売上高・営業利益の推移（第3四半期累計期間）

（単位：億円）

		23年度 3Q累計実績	24年度 3Q累計実績	増減	増減率
全 社	売 上 高	1,069	1,364	295	27.6%
	営 業 利 益	133	263	130	98.4%
	営業利益率	12.4%	19.3%	6.9%	-
	経 常 利 益	142	265	123	86.7%
	当期純利益	101	199	98	96.5%
理科学・計測機器事業	売 上 高	715	843	129	18.0%
	営 業 利 益	73	100	26	36.1%
	営業利益率	10.3%	11.8%	1.6%	-
産業機器事業	売 上 高	245	417	172	70.1%
	営 業 利 益	95	204	109	115.0%
	営業利益率	38.6%	48.8%	10.2%	-
医用機器事業	売 上 高	109	103	△ 6	△5.5%
	営 業 利 益	8	8	0	2.8%
	営業利益率	7.0%	7.6%	0.6%	-
全 社	費 用	43	48	5	11.9%
為替レート(1\$=)		¥143	¥153	¥10	7.0%
為替レート(1€=)		¥155	¥165	¥4	2.6%

資料取扱上のご注意：

本資料にて提供する情報には、現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく記述が含まれています。

今後、経済情勢をはじめ半導体市況や研究開発投資など、弊社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が異なったものとなることが否定できないことをご承知置き願います。